

資産形成世代

20代の皆さまへ

仕事やプライベートを思いっきり充実させたい年代

将来の目標や夢の実現に向けて、今のうちから計画をたてましょう。

収入と支出のバランスを考えながら、自分自身の資産をしっかりと管理しましょう。将来のためにも、自己研鑽・スキルアップ・仕事やプライベートで交流を広げるなどいろいろなことにチャレンジしましょう。

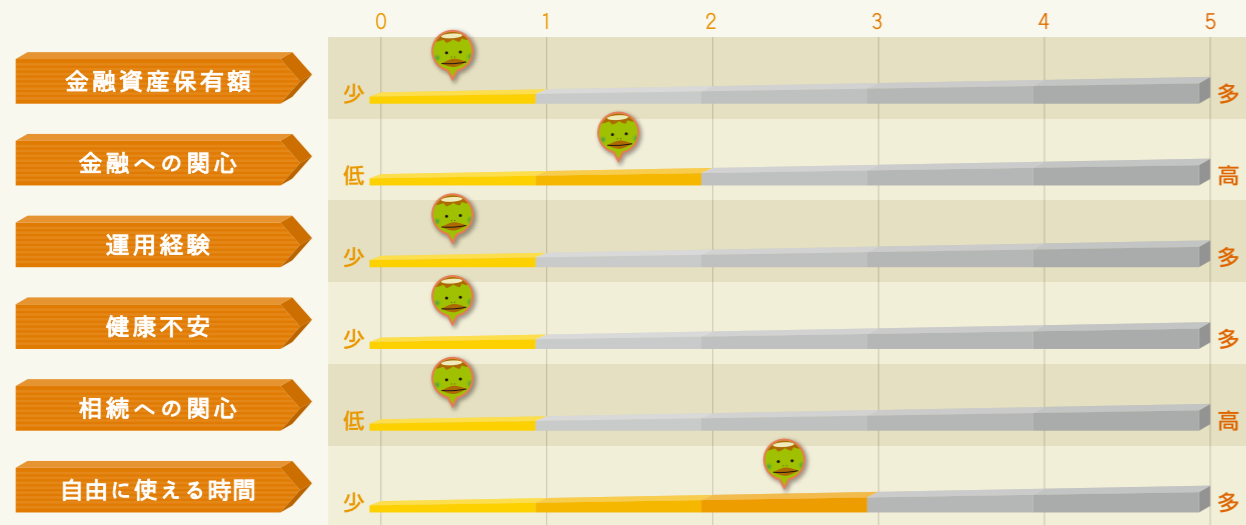


Question

1. 今後どんなことに資金が必要となるとおもいますか？
2. お金の管理で工夫していることは何ですか？
3. 金融制度について、知っておきたいことは何ですか？
4. 60歳のときに金融資産がどれくらいあれば安心ですか？

20代の一般的な傾向（イメージ）

※それぞれの項目について5段階で表しています。



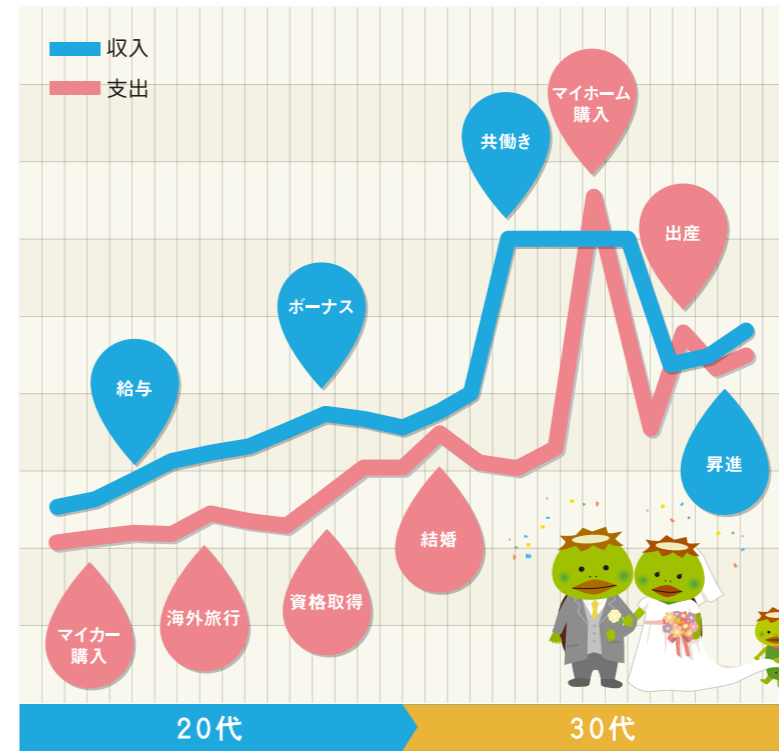
20代では金融資産の保有額は少なく、金融に対する関心度合いも低い傾向にあります。健康状況は問題なく、プライベートで使える時間も多いため、スキルアップのための資格取得や異業種交流などで幅広く活動することができます。

ちゅうぎんは、お客さまの「目標」や「夢」の実現を応援します。

将来に向けた「資金計画」をイメージしましょう

仕事や結婚・出産などにより、変化していく収支のバランスをイメージしましょう。

20～30代の収支のイメージ



結婚にかかる費用 (挙式・披露宴・披露パーティの総額)

全国平均 約359.7万円

出所:(株)リクルートマーケティングパートナーズ セクシー「結婚トレンド調査2016調査」

出産にかかる費用

全国平均 約48.6万円

出所:厚生労働省保険局 「平成26年7月7日第78回社会保障審議会医療保険部会資料2」

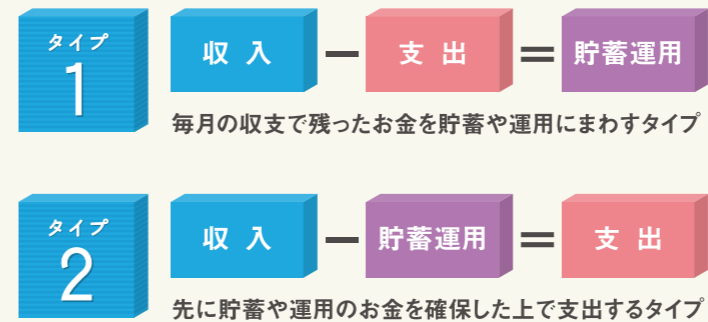
ちゅうぎんからのご案内

- 貯蓄
 - しあわせ預金 ●一般財形預金
 - 財形住宅預金 ●財形年金預金
- ローン
 - カードローン ●マイカーローン
 - 住宅ローン ●目的ローン ●教育ローン
- クレジットカード
 - ドリーミーカード ●晴れの国カード

20代から「お金の管理」を身につけましょう

20代から、お金をしっかりと管理しながら、将来に向けての貯蓄や運用を計画的におこないましょう。

貯蓄や投資に対する考え方



あなたの
お考えはどちらに
近いですか？



給与の受取り、公共料金やクレジットの引落しなどを毎月確認し、収入と支出のバランスに気を配りましょう。

インターネットバンキング（晴れの国支店）であれば、銀行の窓口に行かなくてもインターネットで口座開設できます。また、パソコンやスマートフォン・携帯電話を利用して、24時間、土・日・祝日・休日もお好きな時間にお取引いただける方法があります。

ちゅうぎんからのご案内

- 普通預金
 - 給料、配当金などの自動受取口座
 - 公共料金、クレジットカード利用代金などの自動引落口座
- インターネットバンキング（晴れの国支店）
 - 残高・入金金明細のご照会 ●お振込み
 - お振替え ●Web通帳 ●自動送金サービス
 - 定期預金のお取引 ●外貨預金のお取引
 - 投資信託のお取引 ●個人向け国債のお取引

金融についてのいろいろな「制度」をご存知ですか？

貯蓄や投資などの条件が合えば、各種控除などを受けられる制度があります。

■以下について、ご存知の制度はありますか？

少額投資非課税制度 (NISA) 公募株式投資信託・上場株式等への投資による譲渡所得、配当所得が非課税となる制度。

確定拠出年金制度 (401k) 拠出された掛金と運用収益との合計額をもとに年金給付額が決定される年金制度。企業型と個人型(iDeCo)があり平成29年1月より個人型(iDeCo)の加入要件が大幅に緩和。掛金は全額所得控除の対象となる一方、投資リスクを加入者が負う。

生命保険料控除制度 納税者が生命保険・介護医療保険・個人年金保険の保険料を支払った場合に、一定の金額を所得控除できる制度。

住宅借入金等特別控除制度 居住者が住宅ローン等を利用して、マイホームの新築、取得等をした場合に、住宅ローン等の年末残高に応じて、所得税額を控除する制度。

※制度の活用については、条件や期限等があります。

各種の金融税制等のメリットを活用することで、より有利に資産を形成することができます。

制度の内容を確認しながら、ご自身にあった制度を上手に活用しましょう。

ちゅうぎんからのご案内

- 少額投資非課税制度 (NISA)
 - 株式投資信託
- 確定拠出年金制度 (401k)
 - 個人型 (iDeCo)、企業型
- 生命保険料控除制度
 - 個人年金保険 ●生命保険 ●医療保険 ●がん保険
- 住宅借入金等特別控除制度
 - 住宅ローン

将来のための「資金準備」を始めましょう

毎月積立てする際に、利回りを味方につけることで目標額に早く到達することができます。ただし、高い利回りを目指すことは、よりリスクをとるようになります。

■利回りによる金額の違い (25歳から毎月2万円を積立てた場合)

利率	年齢	15年後 (40歳時点)	25年後 (50歳時点)	35年後 (60歳時点)
0%		360万円	600万円	840万円
1%		389万円	682万円	1,006万円
3%		455万円	894万円	1,487万円
5%		537万円	1,196万円	2,282万円

※上記の計算にあたっては、税金や手数料等を考慮していません。※1年ごとの複利計算。
※小数点第1位以下を四捨五入しています。

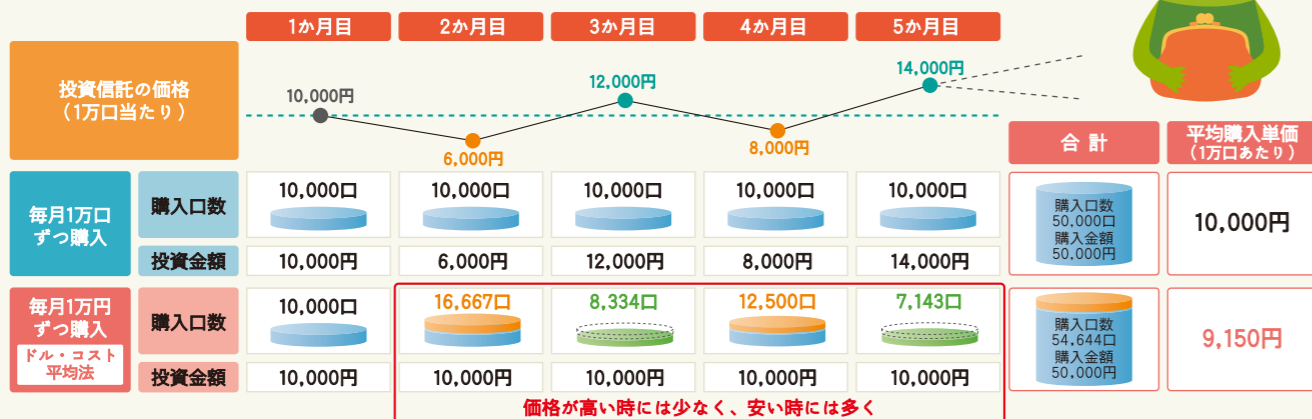
ちゅうぎんからのご案内

- 積立型の預金商品
 - しあわせ預金 ●目的積立わくわくプラン
- 積立型の運用商品
 - 投資信託 (定期・定額購入サービス)
- 積立型の保険商品
 - 終身保険 ●個人年金保険
- 積立型の外貨商品
 - 外貨積立預金 (平成29年5月より)

■ドルコスト平均法

一定金額ずつ定期的に購入すると、価格が高い時には数量を少なく、安い時には数量を多く買うことになり、一定数量を定期的に購入するより、平均購入単価を低く抑えることが期待できます。

定量で購入した場合と定額で購入した場合



※上記の例は、あくまで仮定であり将来の結果をお約束するものではありません。投資のタイミングによっては定期・定額投資の平均取得原価が高くなる場合もあります。また上記の例は、購入手数料を含んでおりません。

ライフプランを考えるための4ステップ

まずは現状を把握し、今後のイベントや退職後のこと、不測の事態への備えなどを具体的にチェックしていきましょう。



STEP 1

現状の確認

現在の年収

200万円未満	200~500万円未満	500~1,000万円未満	1,000万円以上
---------	-------------	---------------	-----------

20代前半の平均給与:248万円
20代後半の平均給与:344万円

出所:国税庁「平成26年分民間給与実態統計調査」

毎月の支出

20万円未満	20~30万円未満	30~40万円未満	40万円以上
--------	-----------	-----------	--------

20代前半の平均支出額:17.8万円/月
20代後半の平均支出額:25.4万円/月

出所:総務省統計局「平成26年家計調査(家計収支編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯)」

現在の貯蓄額

200万円未満	200~500万円未満	500~1,000万円未満	1,000万円以上
---------	-------------	---------------	-----------

20代の平均貯蓄額:255万円

出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯)」

STEP 2

今後の予定

今後のイベント

結婚	マイカー購入	マイホーム購入	お子さまの誕生	海外旅行	(その他)
----	--------	---------	---------	------	-------

退職金額 (希望額)

1,000万円未満	1,000~2,000万円未満	2,000~3,000万円未満	3,000万円以上
-----------	-----------------	-----------------	-----------

退職給付額の平均額(勤続年数35年以上)
企業規模 30~99人:1,729万円
企業規模1,000人以上:2,417万円

出所:厚生労働省「平成25年就業条件総合調査」

退職時保有金融資産額 (退職金を含んだ希望額)

1,000万円未満	1,000~2,000万円未満	2,000~3,000万円未満	3,000万円以上
-----------	-----------------	-----------------	-----------

60代の平均貯蓄額:2,402万円

出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯)」

公的年金受給額 (月額・本人分の希望額)

5万円未満	5~10万円未満	10~15万円未満
-------	----------	-----------

受給額の平均額(65歳~69歳)
国民年金:男性 57,381円、女性 54,420円
厚生年金:男性169,567円、女性104,417円
(※厚生年金額は基礎年金額を含んでいます)

出所:厚生労働省「平成26年度厚生年金保険・国民年金事業年報」
注:国民年金および厚生年金の受給権者がそれぞれ受給している平均年金月額(年齢別)データ

STEP 4

不測の事態への備え

保険を“みえる化”しましょう

加入中の保険の一例 黄色い部分を参考に、ご自身の生命保険加入状況について図を作成してみましょう。

